



第 32 号

発行者
 社団法人
 日本プールアメニティ施設協会
 〒160-0022 新宿区新宿2-6-3
 URL <http://www.jpaa.com/>
 E-Mail jpaa@sepia.ocn.ne.jp
 TEL 03-5366-5703
 FAX 03-5366-5629

第21回 通常総会の開催（概要報告）

平成14年6月26日（水）午後3時30分より東京都新宿区四谷「主婦会館プラザエフ」にて、第21回通常総会が開催された。

会議は定刻通り、野崎貞彦会長の挨拶、厚生労働省生活衛生課・光岡俊成殿の来賓挨拶に続いて、田口正人氏を全会一致で、議長に選出した。次に定足数の確認を行い、正会員28社に対し委任状を含め、出席数26社により、定款第24条に規定する過半数の定足数を超えたので、総会が成立したことを確認し、引き続き議案の審議に入った。

1. 議案の審議結果

第1号議案～第8号議案まで全て全会一致で承認された。

第1号議案 議事録署名人に関する件

田口正人議長、木村武年氏、木村博氏を選任した。

第2号議案 会員・役員の変更

辞任：井上保理事、金子知司監事

就任：森本康次郎理事（日本フィルコン(株)）、

大井田隆 新理事（日本大学医学部教授）

矢倉裕監事（ヤマハ発動機(株)プール事業部長）

第3号議案 平成13年度事業報告（別添参照）

第4号議案 平成13年度収支決算報告（別添参照）

第5号議案 監査報告

第6号議案 役員の変更

任期：平成14年9月20日～平成16年9月19日

（理事19名、監事2名、敬称略、順不同）

（理事）石村隆之、井上宇市、大井田隆、神永晋、川崎宗男、木下秋雄、木原美知子、小島良三、笹野英雄、佐野武仁、成定武彦、杉浦正行、高島興一、玉利齊、長島弘典、野崎貞彦、濱田昭、松田朗、森本康次郎

（監事）青木章太、矢倉裕

第7号議案 平成13年度事業計画の一部修正について

第8号議案 平成13年度予算計画の一部見直しについて

第3号議案 平成13年度事業報告

1. 水泳プール管理マニュアル（第2版）の発刊

厚生労働省健康局長通知「遊泳用プールの衛生基準について」の改正に伴い、協会の「水泳プール管理マニュアル」の改定を実施し、平成13年12月10日に第2版として発刊した。

2. 調査研究事業

2.1 プール衛生管理実態調査

本協会助成事業「プールの構造形態・設備および室内環境とプール水の衛生管理に関する調査（第2年次）」（研究者：神奈川県立衛生短期大学教授 市川誠一）を実施した。

3. 講習会事業

3.1 プール衛生管理者講習会

平成13年度の講習会は受講者322名（修了者数318名）あり、受講者数は延べ3,930名、（修了者数3,917名）となった。詳細は以下の通りである。

第53回	平成13年5月／東京	60名
第54回	平成13年6月／大阪	71名
第55回	平成13年9月／北海道	16名
第56回	平成13年10月／東京	67名
第57回	平成14年2月／福岡	42名
第58回	平成14年3月／大阪	66名

3.2 第1回技術講演会の開催

平成13年8月28日品川区立総合区民会館に開催し、143名の参加者を得た。

4. 広報活動

4.1 機関紙の発行

機関紙「プールアメニティ」は2回発行した。

- 第30号 第19回通常総会報告
厚生労働省プール衛生基準検討会報告、他
- 第31号 第20回通常総会報告、
第1回技術講演会概要報告、
平成12年度調査研究報告概要、他

4.2 協会案内（パンフレット）の改訂

平成13年12月に改訂し、協会PR用に活用している。

4.3 講習会募集案内の強化

(1) 関係団体との連携強化の継続

- ・水泳プール衛生管理者講習会は（財）日本健康スポーツ連盟及び理事会の協力を得た。
- ・第1回技術講演会は、水泳プール浄化装置工業連盟の協力を得た。

(2) データの継続整備

- ・全受講者名簿のデータベース化の平成13年度分を追加した。
- ・スイミングクラブのデータベース（DB）の活用。
全国のスイミングクラブのデータを整備し、次年度の講習会募集に活用した。

4.4 インターネットホームページの更新

(1) 平成13年度はメンテナンスを2回実施した。

(2) 閲覧回数は平成13年度末17,650回と7,740回／年の増加であった。

5. コンサルティング事業

5.1 技術的な質問は文書が35件、TELが22件であった。

6. 委員会活動

企画運営委員会9回、編集委員会2回、教務委員会4回、講師会1回、をそれぞれ開催した。

第4号議案 平成13年度収支決算報告

収支計算書（自平成13年4月1日至平成14年3月31日）

科目	予算額	決算額	差異
I. 収入の部			
1. 会費・入会金収入	5,480,000	4,980,000	△500,000
(1) 会費収入	5,480,000	4,980,000	△500,000
2. 事業収入	9,200,000	13,045,452	3,845,452
(1) 講習会事業収入	9,200,000	13,045,452	3,845,452
3. 雑収入	40,000	11,123	△28,877
当期収入合計(A)	14,720,000	18,036,575	3,316,575
前期繰越収支差額	18,346,984	18,346,984	0
収入合計(B)	33,066,984	36,383,559	3,316,575
II. 支出の部			
1. 管理費	872,000	634,263	△237,737
人件費	275,000	156,409	△118,591
事務局費	300,000	229,636	△70,364
委員会費	130,000	145,223	15,223
広報活動費	140,000	102,995	△37,005
予備費	27,000	0	△27,000
2. 事業費	13,848,000	13,865,560	17,560
人件費	2,475,000	1,407,687	△1,067,313
事務局費	2,700,000	2,066,731	△633,269
直接事業費	3,500,000	6,657,169	3,157,169
委員会費	1,170,000	1,307,011	137,011
広報活動費	1,260,000	926,962	△333,038
特定支出(調査研究)	2,500,000	1,500,000	△1,000,000
予備費	243,000	0	△243,000
3. 固定資産の支出		583,275	
什器備品購入額		583,275	583,275
当期支出合計(C)	14,720,000	15,083,098	363,098
未収入金(D)		109,960	
当期収支差額(A)-(C)-(D)	0	2,843,517	2,843,517
前期繰越収支差額(B)-(C)-(D)	18,346,984	21,190,501	2,843,517

第8号議案 平成14年度予算計画の一部見直しについて

(単位:千円)

科目	当初予算	修正予算
1. 収入の部		
(1) 会費	5,255	4,900
(2) 事業収入	8,750	11,300
(3) 雑収入	40	10
合計	14,045	16,210
2. 支出の部		
(1) 人件費	2,750	2,750
(2) 事務局費	2,800	2,800
(3) 直接事業費	4,000	6,000
(4) 委員会費	1,000	1,000
(5) 広報活動費	1,100	1,100
(6) 特定支出	1,500	1,500
(7) 予備費	895	1,060
合計	14,045	16,210
収支差額	0	0

平成13年度質疑応答事例集（抜粋）

平成13年度中に協会宛にきた質問に対する、代表的なものを抜粋した（順不同）。

薬品関係

Q1：殺菌目的で使用する硫酸銅について、①基準及び②使用方法について

A1：①プールの衛生基準には規定されていない
②水道の水質基準では、銅イオンとして1.0mg/L
詳細は水道施設設計指針（日本水道協会編）による

Q2：プール消毒剤の医薬品承認規格について

A2：現在プールで使用されている塩素系の消毒剤で医薬品規格のものはありません。

Q3：厚生労働省通知で塩素剤の医薬品規格が定められていない理由

A3：従来塩素濃度の高い理由で医薬品の承認をうけた消毒剤が必要であった、腰洗い槽などの設置義務を無くしたことによる。但し、安全を期するため医薬用、食品添加物、水道用の規格のものを使用することを、推奨しています。

水質検査

Q4：残留塩素濃度と以下の相関について、データがありましたら教示下さい

1. pH,濁度
2. 循環水量とプールの体積
3. 過マンガン酸カリウム消費量

A4：水泳プールの調査データは学術的でないこと、行政関係データでない限り文献検索では困難です。

参考になる文献として、1999年度厚生科学研究費補助金総合研究報告書「全国のプール水質に関する実態調査」があります。

Q5：砂ろ過方式と珪藻土ろ過方式でKMnO₃消費量及び濁度に差がありますか

又、目視による透明度に差がある施設間で、濁度を測定すると、差が出ないのはなぜか

A5：KMnO₃消費量は溶解性物質による為、大きな違いは無いと考えられます

濁度は、基本的には性能が同一ならば差異はありません。ただ、砂ろ過方式で凝集剤を使用した場合、小さなコロイド状汚染物質まで取り除けるので、濁度測定で差が出る場合があります。

同じ濁度でも、目視による透明度測定では、照度の差、測定者間の差、測定方法の差が関係してきます。

Q6：水道水に食塩を入れてプール原水としている場合のKMnO₃消費量の測定方法について。

CODアルカリ法と相関関係はあるか

A6：食塩濃度の高い水のKMnO₃消費量の測定法は、硫酸酸性で100℃で5分間の煮沸KMnO₃消費量が採用されている。

KMnO₃消費量の測定値は反応液性、試薬濃度、加熱時間に大きな影響を受けるので、CODアルカリ法との相関は出来ません。

運営管理

Q7：ユスリカの駆除方法について（3件）

A7：ユスリカは、水があって、有機物が貯まっている場所に発生する。このため屋内プールでは①進入経路を絶つこと、②プール内の幼虫のえさとなる有機物を除去すること、がきわめて重要となる。

特に掃除が行き届かない、プールベンチの下、排水口、オーバーフロー水槽、ろ過機フィルター部など。

一般的にユスリカ駆除は、魚による防除、プール周辺の植物繁殖制御、ミジンコが卵をうみにくくするため、不使用時プール表面にカバーをするなどで

硫酸銅と塩素剤の併用が効果的との文献もある。

ユスリカについては、日本ユスリカ研究会のHPを参照ください。

Q8：ろ過設備のない小児用の屋外小規模プールでの残留塩素濃度の管理方法について

A8：厚生労働省の水質基準については、小規模プールにおいても適用されます。屋外プールでは紫外線による塩素剤の分解・消失が欠点です

調整方法は

1. 錠剤の溶解速度で調整する
2. 溶解速度の遅い塩素剤を用いる
(例：トリクロロイソシアヌル酸)
3. 塩素安定剤の使用
(塩素化イソシアヌル酸の利用)

Q9：塩素剤の取扱については、プール衛生管理者の資格が必要ですか

A9：使用する塩素剤が危険物取扱指定品の場合、プール衛生管理者は、資格ではありませんので、取扱は出来ません。

維持管理常管理

Q10：カートリッジ方式にて濁りが残る場合、凝集剤を使用することは有効ですか。

A10：カートリッジ式では、凝集剤を使用すると、閉塞しますので、本来は使用しません

カートリッジが目詰まりなどして、ろ過能力が落ちているとも考えられます。

Q11：補給水量は10%～20%を目安とする手引きが県条例とともにありますが、補給水の負担量が大きいのでどうしたらよいか

A11：県条例に従う事が第1ですが、補給水量はKMnO₃消費量12mg/Lを保つ事が前提なので、是で補給水量を定めて、保健所と相談してください。

Q12：逆洗をしてもKMnO₃消費量が減少しないので、対策は

- A12：①人的負荷がプール容量に比べ高い場合、補給水量を増やす。
②スーパークロリネーション等により循環系統を消毒殺菌する。
③オゾン処理、活性炭ろ過、紫外線殺菌等を検討。
④プール水の全量を定期的に交換する。

厚生省通知関係

Q13：総トリハロメタンを検査項目に入れた理由

A13：水道水規準に既に入っていること

人体への経皮吸収や気道吸収などの知見が充分でない為、暫定値0.2mg/Lとした。

詳細については厚生労働省の「プール衛生基準検討委員会」の報告書を参照下さい。

(本協会の水泳プール管理マニュアル（改訂版）にも参考資料として掲載されております)

総合

Q14：総トリハロメタンについて

A14：トリハロメタンはメタンを構成する4つの水素原子の3つが塩素、臭素、ヨウ素などのハロゲン化合物に置換された物です。水道水規準ではその中でクロロホルム、プロモジクロロメタン、ジプロモクロロメタン、プロモホルムの4物質を総称して総トリハロメタンと呼ぶ

Q15：循環系統におけるサージタンクの必要性

A15：オーバーフローラインで流れてくる部分はプールサイドで開放になっており、もしサージタンクが無く直接廃刊でろ過機のサクションへ接続されていると、プールサイドの開放部から空気が混入し、ろ過ポンプにエアー噛みを起こし循環不能になる恐れがあるためです。

その他質問内容

1. pH値の測定回数について
2. プール水中のトリハロメタンのデータについて。
3. プールへの持込物の制限について

4. プールにおけるOT法の廃止について
5. 循環ろ過装置の種類について
6. 屋内プールにおける二酸化炭素の具体的な測定方法と測定機器（メーカー、価格）について
7. 障害児童用の水中療育室（屋内温水プール8m×5m×1m）プールの設置費用、設備費用、維持管理費用について
8. プール衛生管理者について
9. H12年度の調査研究内容を教えてください
10. DIN規格の内容をについて
11. 腰洗い槽の廃止について
12. 二酸化炭素の濃度測定方法について
13. 協会の機器認定制度と認定機器について
14. 濁度測定器のメーカーについて

〈参考〉

1. 協会のHPに掲載されている質疑応答の主要質問。

- Q1: プールの管理はどうすればよいのでしょうか
 Q2: シーズン前の点検は
 Q3: シーズン中の点検は
 Q4: シーズン後の点検は
 Q5: 冬場の管理は
 Q6: 水質分析はいつするのは
 Q7: 水質分析に必要な物は
 Q8: 測定個所は
 Q9: 泳ぎに適した水温は
 Q10: 水温が低い時は
 Q11: 水温が高いときは
 Q12: 適当な残留塩素濃度は
 Q13: 残留塩素濃度が高いときは
 Q14: 残留塩素濃度が低い時は
 Q15: 塩素剤の種類は
 Q16: 塩素剤を直接プールに投入する場合の注意点は
 Q17: プールの材質は
 Q18: 材質の見分け方は
 Q19: 材質別の掃除の仕方は
 Q20: 掃除は何時するのか
 Q21: 掃除の方法手順は
 Q22: 掃除用具は
 Q23: 汚れの種類と除去方法
 Q24: 汚れの原因は
 Q25: 掃除の時特に注意することは
 Q26: プールの水が濁っているが
 Q27: 水が緑色になった
 Q28: 水が茶色になった
 Q29: 水の表面がキラキラしている
 Q30: 泳いでいると目がチカチカする
 Q31: 水がヌルヌルした感じがする
 Q32: プールの水が臭う
 Q33: 表面に錆が検出された
 Q34: プールの水が減少する
 Q35: ろ過機のポンプが回らない

2. 機関紙第29号に掲載されている質疑応答の質問。

- Q1: 遊泳中に咳症状や呼吸困難になるがなぜですか
 Q2: 全身に紅斑の人は黄色ブドウ球菌に感染する恐れがありますか
 Q3: ①プール内の残留塩素濃度が2.5mg/L以上になった場合、人体などへの影響は
 ②処置方法
 ③発生事例
 Q4: ①次亜塩素酸ナトリウムの表示における水道用、食品添加物用、医療用、工業用の区分について
 ②次亜塩素酸ナトリウムの安全性について
 ③学校で使用されている塩素消毒剤について
 Q5: 凝集剤について
 ① 必要性
 ② 凝集剤としての硫酸バンドの役目とトラブル
 ③ 種類
 Q6: スーパークロリネーションの効果について
 Q7: KMnO₄消費量が高くなっている施設について
 凝集剤は効果がありますか
 Q8: ①OT法とDPD法のちがいについて
 ②結果に大きな誤差が出たが、何故か
 Q9: ①pHの変動要因は何か
 ②pH値が高くなってしまった時の調整剤はどのようなものを用いればよいか
 Q10: ウォータースライダーの法定点検について
 Q11: プール新設時の検討項目として
 ① シャワーを浴びる時間の制限はあるのか
 ② オーバーフローと濾過用の水は別々か、一緒か
 ③ 屋外プールでは、水の蒸発はどのくらいか
 ④ 砂ろ過式プールでは、ターン数5回として逆洗ではどのくらいの水を捨てているのか
 Q12: 遊泳時間と休憩時間のサイクルに規制はあるのか
 Q13: 補給水の適量と適切な方法
 Q14: プール水の排水の基準はありますか
 Q15: 濁度の簡易測定法
 Q16: キックなどの泡切れが悪く、キックをすると白濁する。それに伴いプール水に非常に細かなエアが存在する。ろ過砂の交換、配管チェック、pH、残留塩素濃度は正常でした。凝集剤、アクアファインを使用している。
 Q17: 生徒がプールに排便をしてしまった後の処理について、衛生管理上の処理を教えてください
 Q18: プール水が白濁する原因と対策
 Q19: 屋内プールで泳ぐと細かい泡が大量に発生し、しばらくすると透明な状態になるが、原因と処置方法
 Q20: プールやトイレのタイル床の継ぎ目に出来る白色結石について
 ①発生原因
 ②次亜塩素酸(12%)やサンポール、塩酸(10%)では取れないため、除去方法は何か
 Q21: 足腰洗い槽の設置については義務付けられていますか
 Q22: 海水プールの水質基準について

協会情報

1. 平成14年度 プール衛生管理者講習会の予定表

(本日程は、予告なく変更する場合があります。)

区分	日時	会場	受付期間
第59回 (東京会場)	平成14年 5月23日(木) 5月24日(金)	日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋2-6-2	4月1日より受付 開始 定員になり次第、 締切 各会場とも 定員70名
第60回 (大阪会場)	6月18日(火) 6月19日(水)	大阪国際交流センター 大阪市天王寺区上本町8-2-6	
第61回 (東京会場)	9月19日(木) 9月20日(金)	日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋2-6-2	
第62回 (仙台会場)	10月23日(水) 10月24日(木)	仙台国際センター 仙台市青葉区青葉山	
第63回 (高松会場)	平成15年 2月20日(木) 2月21日(金)	未定	
第64回 (大阪会場)	3月13日(木) 3月14日(金)	大阪国際交流センター(予定) 大阪市天王寺区上本町8-2-6	

2. 水泳プール管理マニュアル(第2版)の発行

平成13年7月24日付厚生労働省健康局長通知「遊泳用プールの衛生基準について」による改正に伴う、本協会の講習会用教本でもある「水泳プール管理マニュアル(第2版)」(税込 5,250円)を平成13年12月10日に発行しました。

3. 会員各社の新製品、新技術の紹介コーナーの設置について

- ・次号より会員各社の新製品、新技術コーナー、を設けたいと思いますので、奮ってご応募下さい
- ・尚、応募多数の場合は、協会にて順位付けを致しますのでご了承願います
- ・本件のお問い合わせは本協会事務局まで

正 会 員 名 簿

会社名	〒	連絡先住所
(株)東工業	105-0013	東京都港区浜松町1-21-4港ビル3F
(株)石垣	104-0031	東京都中央区京橋1-1-1(八重洲ダイビル)
(株)荏原製作所	108-8480	東京都港区港南1-6-27
(株)協和産業	463-0066	愛知県名古屋市守山区町南28-8
栗田工業(株)	160-8383	東京都新宿区西新宿3-4-7
(財)厚生年金事業振興団	160-0022	東京都新宿区新宿5-5-10
壽化工機(株)	467-0012	愛知県名古屋市瑞穂区豊岡通1-14
(株)ササクラ	555-0011	大阪府大阪市西淀川区竹島4-7-32
(株)三協	154-0016	東京都世田谷区弦巻4-17-4
(株)三進ろ過工業	170-0002	東京都豊島区巣鴨1-9-11
(株)ショウエイ	211-0051	神奈川県川崎市中原区宮内1-19-23
住友精密工業(株)	104-6108	東京都中央区晴海1-8-11オフィスタワーY18F
千代田工販(株)	104-8115	東京都中央区銀座5-2-1 銀座東芝ビル7F
(株)テラルキョクトウ	112-0004	東京都文京区2-3-27 テラル後楽ビル
東西化学産業(株)	104-0033	東京都中央区新川1-22-11 フジライト新川ビル7F
トースイ(株)	102-0093	東京都千代田区平河町1-7-7
東レ(株)	279-8555	千葉県浦安市美浜1-8-1
日機装エイコー(株)	169-0075	東京都新宿区高田馬場3-46-25 第18荒井ビル10F
日本フィルコン(株)	206-8557	東京都稲城市大丸2220
フジカ濾水機(株)	170-0013	東京都豊島区東池袋5-39-15
富士電機(株)	141-0001	東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イースタワー
ミウラ化学装置株式会社	170-0004	東京都豊島区北大塚2-17-10 高栄ビル7F
三菱電機プラントエンジニアリング(株)	110-0015	東京都台東区東上野5-24-8 住友不動産上野ビル6号館
三菱レイヨン・エンジニアリング(株)	108-8506	東京都港区港南1-6-41 品川クリスタルスクエア
ヤマハ発動機(株)	140-0032	東京都品川区北品川2-16-1
理水化学(株)	530-0054	大阪市北区南森1-4-10 理水ビル
ローレル(株)	640-8343	和歌山県和歌山市吉田332
ロンシール機器(株)	101-0025	東京都千代田区神田佐久間町4-6

(社)日本プールアメニティ施設協会

認定機器一覧表

申請者	機器の名称	型式・型番	認定月日	認定番号	
富士電機株式会社	プール水浄水用 オゾンナイザー	POL-250N	H.10.1.14	0001	
		POL-450N	H.10.1.14	0002	
		POL-600N	H.10.1.14	0003	
		POL-1200N	H.10.1.14	0004	
ミラウ化学装置株式会社	珪藻土式 全自動型 濾過装置	PA40-204AT	H.10.1.14	0010	
		PA60-206AT	H.10.1.14	0011	
		PA100-210AT	H.10.1.14	0012	
		PA150-215AT	H.10.1.14	0013	
		砂式全自動型 濾過装置	MS-2SAT	H.10.1.14	0014
MS-3SAT	H.10.1.14		0015		
MS-4SAT	H.10.1.14		0016		
MS-5SAT	H.10.1.14		0017		
日本フィルコン株式会社	全自動砂式 濾過装置		P-41SA	H.10.1.14	0018
		P-61SA	H.10.1.14	0019	
		P-91SA	H.10.1.14	0020	
		P-121SA	H.10.1.14	0021	
		全自動サヤマ式 珪藻土濾過装置	P-41ME	H.10.1.14	0022
	P-61ME		H.10.1.14	0023	
	P-91ME		H.10.1.14	0024	
	P-121ME		H.10.1.14	0025	
	株式会社三協		サンド全自動型	NB-6型	H.10.1.14
		NB-7型		H.10.1.14	0027
NB-8型		H.10.1.14		0028	
NB-9型		H.10.1.14		0029	
栗田工業株式会社	全自動砂式 プール循環 浄化装置	KPF-LA-2型	H.10.1.14	0030	
		KPF-LA-3型	H.10.1.14	0031	
		KPF-LA-4型	H.10.1.14	0032	
		KPF-LA-5型	H.10.1.14	0033	
株式会社協和産業	全自動砂式 循環濾過装置	KSO-100-2000FL	H.10.1.14	0034	
		KSO-130-2200FL	H.10.1.14	0035	
		全自動カートリッジ式 循環濾過装置	ZA-80G	H.10.1.14	0036
三菱電機株式会社	オゾンプール 浄化システム	SN50	H.10.6.24	0037	
		SN25	H.10.6.24	0038	
		SN125	H.10.6.24	0039	
住友精密工業株式会社	オゾン浄化装置 無声放電式	SPA-15A	H.10.6.24	0040	
		SPA-25A	H.10.6.24	0041	
		SPA-35A	H.10.6.24	0042	
日機装エイコー株式会社	砂式濾過機	SFF-11-AUTO	H.10.10.1	0043	
		SFF-14-AUTO	H.10.10.1	0044	
		SFF-16-AUTO	H.10.10.1	0045	
		SFF-19-AUTO	H.10.10.1	0046	
ロンシール機器株式会社	全自動砂式 循環ろ過装置	SFF-21-AUTO	H.10.10.1	0047	
		LFI-70A	H.11.2.4	0048	
		LFI-100A	H.11.2.4	0049	
		LFI-140A	H.11.2.4	0050	
千代田工販株式会社	全自動砂式 循環ろ過装置	LFI-50A	H.11.6.2	0051	
		LFI-180A	H.11.6.2	0052	
		紫外線殺菌浄化 装置(フロンライザー)	12DL-B	H.12.2.21	0053
			14DL-B	H.12.2.21	0054
			20DL-B	H.12.2.21	0055
			24DL-B	H.12.2.21	0056
16DH-B	H.12.2.21		0057		
22DH-B	H.12.2.21		0058		
千代田工販株式会社	紫外線殺菌浄化 装置(フロンライザー)	28DH-B	H.12.2.21	0059	
		32DH-B	H.12.2.21	0060	

(社)日本プールアメニティ施設協会 役員名簿 (全役員非常勤)

(期間:平成14年9月20日~平成16年9月19日)

役職	氏名	会社名	所属・役職
会長	野崎 貞彦	日本大学医学部	教授
副会長	濱田 昭	昭和大学	名誉教授
専務理事	長島 弘典	(株)三技協	市場戦略本部長代理
理事	笹野 英雄	日本大学薬学部薬学研究所	顧問
理事	井上 宇市	井上宇市設備研究所	所長
理事	木原美知子	ケイアンドエム・インターナショナル(株)	代表取締役社長
理事	佐野 武仁	昭和女子大学大学院	生活機構研究科教授
理事	玉利 齊	(財)日本健康スポーツ連盟	理事長
理事	杉浦 正行	全国市長会	社会文教分科会委員長(安城市長)
理事	神永 晉	住友精密工業(株)	常務取締役
理事	森本康次郎	日本フィルコン(株)	工業製品事業部長
理事	木下 秋雄	ミウラ化学装置(株)	取締役営業本部長
理事	成定 武彦	三菱レイヨン・エンジニアリング(株)	取締役
理事	小島 良三	(株)荏原製作所	取締役
理事	川崎 宗男	三菱電機プラントエンジニアリング(株)	社長
理事	石村 隆之	富士電機(株)	執行役員常務公共営業本部長
理事	高島 與一	栗田工業(株)	取締役事業部長
理事	松田 朗	(財)厚生年金事業振興団	常務理事
理事	大井田 隆	日本大学医学部	社会医学講座公衆衛生部門教授
監事	青木 章太	青木会計事務所	所長
監事	矢倉 裕	ヤマハ発動機(株)	プール事業部長